

寒川町教育振興基本計画（改定版）

後期実施計画

目次

1.はじめに	1
2.基本計画	2
(1) 基本理念	
(2) 基本目標	3
【9年後の目指す姿】	
(3) 基本方針	
3.後期実施計画	4
(1) 学校教育	
【現状と課題】	
後期実施計画（2018～ 2020年度）の重点施策	7
主要な取り組み	9
(2) 社会教育	16
【現状と課題】	
後期実施計画（2018～ 2020年度）の重点施策	18
主要な取り組み	19
資料 主な取り組みの検証	21

寒川町教育委員会

1. はじめに

寒川町教育振興基本計画（改定版）は、計画の範囲を教育委員会所管の学校教育及び社会教育の分野とし、「基本計画」において、平成24年度からの9年間にわたる各分野の基本構想を示しています。これを受けた「実施計画」では、9年を3年間ずつ前期、中期、後期の3期とし、学校教育と社会教育の各期における具体的な事業実施計画を定めています。

***** <計画の期間> *****

関連する計画と進行年度

計画 \ 年度		2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020
寒川町教育大綱							取り組み期間				
寒川町総合計画	後期基本計画	(前期)	9年計画								
	実施計画		第1次			第2次			第3次		
寒川学びプラン	基本計画	2006(平成18)年度から15年計画									
	実施計画	第2期（5年）					第3期（2年）		第3期（3年）		
寒川町教育振興 基本計画	基本計画		(改定前)		9年計画		(改正後)				
	実施計画		前期		中期		後期				

2. 基本計画

(1) 基本理念

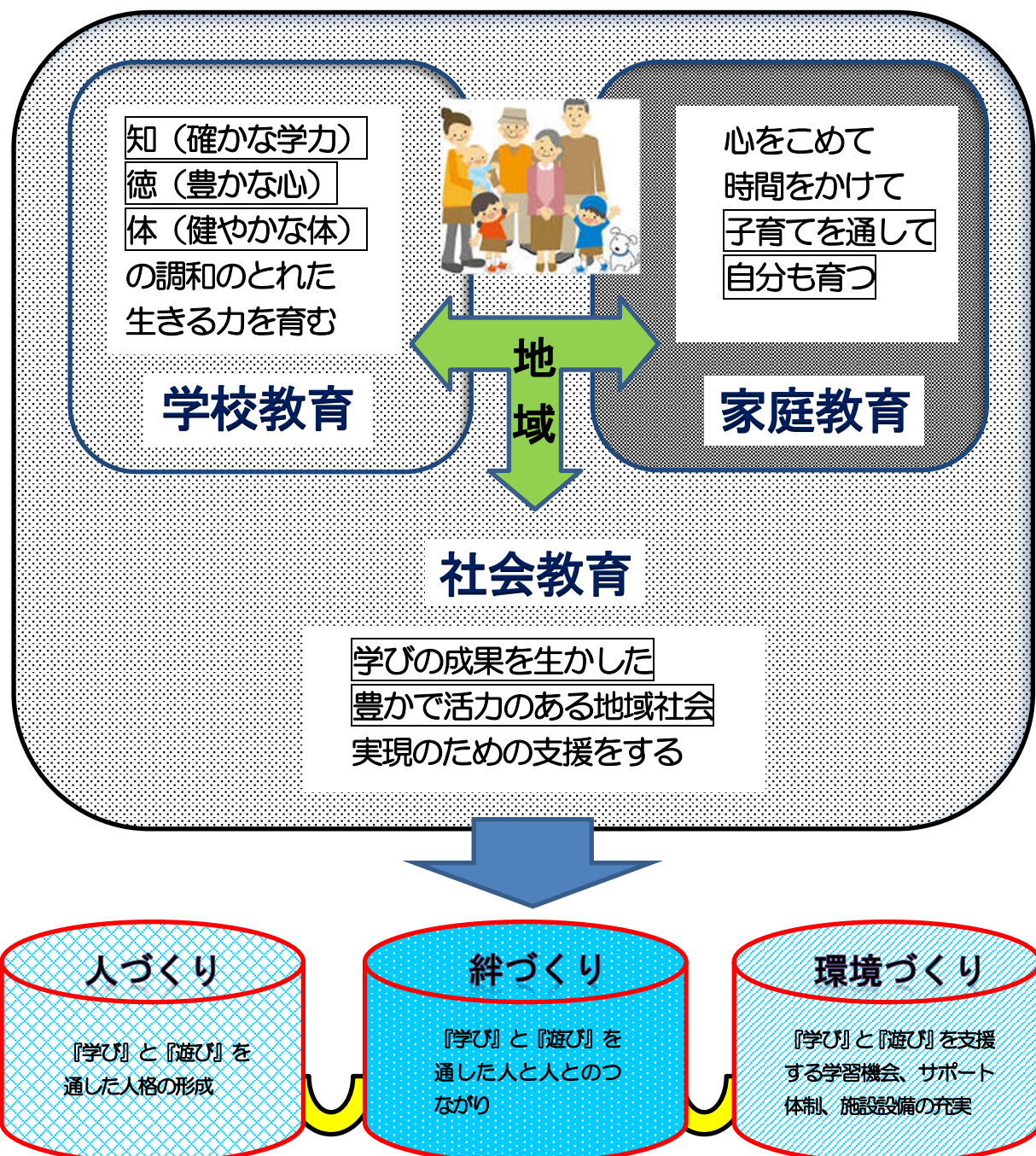
よく学び

よく遊び

よく生きる

～自立（豊かな自己を生涯にわたって育てること）と

共生（人と人とのつながりを育むこと）をめざして～



(2) 基本目標【9年後のめざす姿】

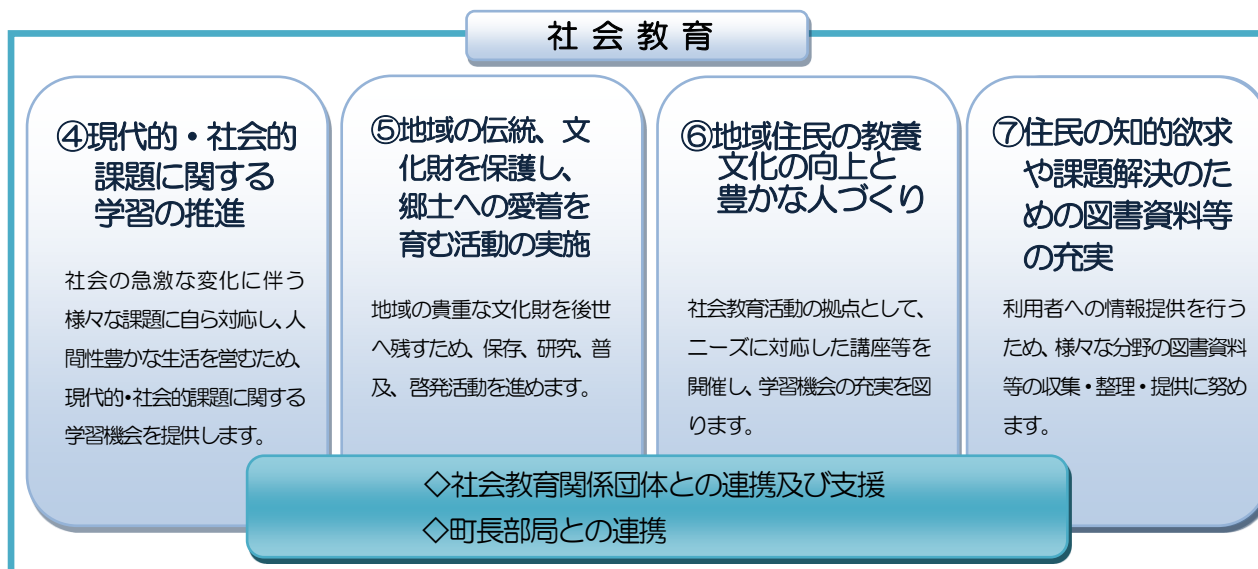
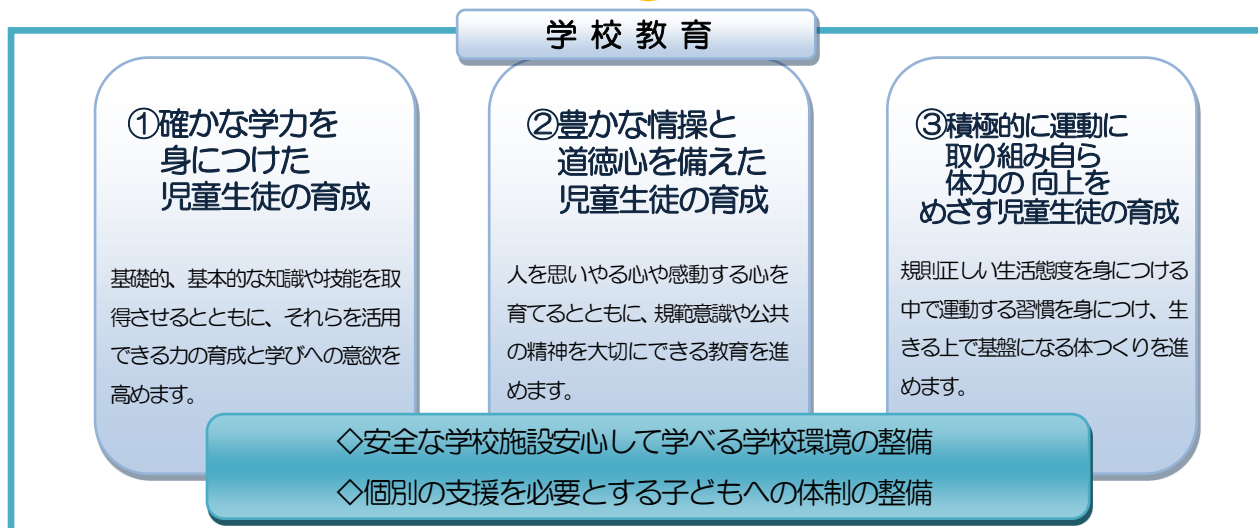
I 学校教育

知(確かな学力)、徳(豊かな心)、体(健やかな体)の
調和のとれた生きる力が育まれている。

II 社会教育

学びの成果を生かした豊かで活力ある地域社会
実現のための支援が行われている。

(3) 基本方針



3. 後期実施計画

(1) 学校教育

基本目標

知(確かな学力)、徳(豊かな心)、体(健やかな体)の調和のとれた生きる力が育まれている。

基本方針

基本方針① 確かな学力を身につけた児童・生徒の育成(賢く豊かな自分づくり)
～基礎的・基本的な知識や技能を習得させるとともに、
それらを活用できる力の育成と学びへの意欲を高めます～

基本方針② 豊かな情操と道徳心を備えた児童・生徒の育成(賢く豊かな自分づくり)
～人を思いやる心や感動する心を育てるとともに、
規範意識や公共の精神を大切にできる人づくりを進めます～

基本方針③ 積極的に運動に取り組み、自ら体力の向上をめざす児童・生徒の育成
(健やかな体づくり)
～規則正しい生活態度を身につける中で運動する習慣を身につけ、
生きる上で、基盤になる体づくりを進めます～



◇安全な学校施設、安心して学べる学校環境の整備

◇個別な支援を必要とする子どもへの体制の整備

【現状と課題】

基礎学力の定着と学習意欲の向上

○平成29年度の全国学力・学習状況調査等の結果分析を見ると、基礎的・基本的な知識・技能については、定着度の向上が見られる分野が増えてきています。しかしながら、まだ課題として残る分野もあることから、引き続き、未定着分野の分析を行い、指導方法の工夫・改善を図ると共に、保護者と連携した家庭学習の定着・充実を図っていく必要があります。また、定着の不十分な児童・生徒については、きめ細かな支援を継続すると共に、学習意欲を高める授業づくりの創造に取り組むことが重要です。

書く力を中心に据えた思考力・判断力・表現力等の伸長

○算数・数学科においては、ここ数年で、定着度の向上が見られます。一方、国語科については、読む力など改善が見られる分野も増えているものの、課題となる分野もまだ少なくありません。書く力の育成を通して、基礎力を定着させ、豊かな言語感覚を身に付けさせることが必要です。国語科を中心としながら、各教科等において書くことの取り組みを充実させ、思考力・判断力・表現力等を伸ばしていくことが求められます。

読書活動の推進

○読書は、人間性を培う上で非常に有益であると共に、読書と学力の相関関係は強いものがあります。今後も読書活動に積極的に取り組むと共に、読みたい本がすぐに手に取れる環境のさらなる整備、家庭と連携した読書の推進に取り組む必要があります。

体験活動の充実

○学校行事や部活動等に多くの児童・生徒は前向きに取り組んでいます。仲間と協力する活動を通して、達成感を味わうことができています。今後も、教科学習とのバランスを図りながら、教科で学んだことを生かし、目的を一層明確にして行事等に取り組ませていく必要があります。また、児童会活動・生徒会活動・ボランティア活動等の自主的活動を推奨しながら、思いやりの気持ちを育んでいく必要があります。

道徳教育と児童・生徒指導の充実

○価値観が多様化する中で、人として許されること、許されないことを教えることがますます大切になってきています。家庭・地域・関係機関等との連携を図りながら、すべての児童・生徒が、道徳意識を高め、思いやりやさしさをもって生活できるよう指導していきます。

いじめ防止と人権教育の推進

○ここ数年、いじめ問題は社会問題化しています。寒川町及び寒川町教育委員会では、各小・中学校において児童・生徒の実状を鑑みながら、「学校いじめ防止基本方針」を策定しています。引き続き丁寧な児童・生徒指導及び保護者対応を行いながら、今後も人権教育の推進と併せ、いじめ防止に向け丁寧に取り組んでいく必要があります。

情報モラル教育の充実

○日々多様化する情報社会において、児童・生徒によるスマートフォンや携帯電話等の SNS を通じたトラブルの発生が危惧されています。情報ツールのメリット、デメリットの双方を児童・生徒、保護者が共に把握し、正しく適切に使用していく判断力を養う必要があります。

体力の向上

○生活環境の変化に伴い屋外で運動する機会は少なくなってきました。また、スポーツ少年団や部活動で熱心に活動する子と全く運動しない子の運動量の差が広がる傾向にあります。全国的にも体格が向上しているにもかかわらず、体力・運動能力は昭和60年に比べると低下の傾向にあります。近年寒川では特に、女子中学生の運動能力の低下が懸念されています。体育の授業を中心に運動能力の向上を図る必要があります。

家庭との連携

○朝食の喫食状況や睡眠時間の確保など、規則正しい生活習慣が身に付くよう家庭と連携し、その中で自主的に学習をする習慣を身につけさせる必要があります。

地域との連携

○多くの児童・生徒は郷土に親しみをもち生活を送ることができています。「地域のせんせい」の活用などを通じ、地域のもつ教育力を学校教育に一層生かしていく必要があります。

支援教育の推進

○平成30年4月現在小学校5校、中学校3校の全校に特別支援学級を設置し、小学校2校に通級指導教室を設置しています。特別な配慮を必要とする児童・生徒が増えており、個々のニーズを踏まえた支援の充実を図る必要があります。

○子どもを取り巻く家庭環境・社会環境の変化に伴い、個別の支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあります。教師とスクールカウンセラー等の専門スタッフとの連携を図り、相談活動を展開しておりますが、さらに教育相談活動を充実していく必要があります。

教職員の指導力と学校力の向上

○教師の世代交代が進み、若手教師が増えてきています。今後は、そうした若手教師の育成も含めて、児童・生徒一人ひとりにきめ細かく対応するためにも、教師個々の資質の向上を図り、それらをつなぎ合わせ組織としての教育力を高めていく必要があります。

学力向上、体力向上に資する教具、教材等の十分な整備

○学習指導要領が求める確かな学力及び体力の育成を図るため、教具、教材等の教育環境の十分な整備を図る必要があります。

防災対策、防災教育の推進

○甚大な被害をもたらした東日本大震災の教訓を忘れることなく、巨大地震をはじめとする大災害に対する防災対策並びに防災教育を推進する必要があります。

学校施設の改善

○学校施設については老朽化も進んでおり、教育環境のさらなる充実を目指し、大規模改修を進める必要がありますが、財政状況が大変厳しく、また、今後、町全体の施設再編を進めてゆく必要があることから、真に必要とされる大規模改修を選択実施しながら、当分の間は緊急性の高い修繕等を随時行っていく必要があります。併せて、安定した学校経営と将来を見据えた財政負担軽減のため学校用地として借用している土地の購入を図ります。

小中学校完全給食の実施

○知、徳、体を育む上で、学校給食はその基礎の一つと言えます。小学校にあっては自校方式である施設の老朽化が進み、また中学校ではミルク給食のみという現状です。今後は小・中学校ともに安全・安心な完全給食の実現を図るべく、学校給食センターの検討・準備を進める必要があります。

◆◆◆◆ 後期実施計画（2018～2020 年度）の重点施策 ◆◆◆◆

1 基礎学力の定着と学習意欲の向上

- ① 一人ひとりを大切にしたきめ細かい指導の充実と基礎・基本の確実な定着を図り、活用する力を育成します。
- ② 学ぶことの楽しさ・喜びを実感できる授業を展開します。
- ③ 全国学力・学習状況調査等で明らかになった課題となる学習内容を中心にした基礎力定着度確認問題を小学校1年から中学校3年生までの各学年別に作成し、基礎学力の定着度を検証します。また、各小・中学校に導入している電子教材「eライブラリ」を活用し、自ら学習する態度の育成を図ります。

2 書く力を中心に据えた思考力・判断力・表現力等の伸長

- ④ 各教科等において、書く力の育成に重点を置いた授業の充実を図ります。
- ⑤ 校内研究のさらなる充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成します。

3 読書活動の推進

- ⑥ 総合図書館と学校図書館の連携を図り、読書活動をさらに推進し、豊かな情操と自ら学ぶ力を育みます。

4 体験活動の充実

- ⑦ 様々な体験学習を通し、社会のルールを学び、生きることの喜びや命の大切さを実感させ、人を思いやる心を育み、共に生きようとする態度を育成します。
- ⑧ 日常的に目標に向かって努力をし、達成できたときの感動を味わえる場を設けるとともに、将来的に夢や希望に向かって前向きに生きていこうとする態度を育みます。

5 道徳教育と児童・生徒指導の充実

- ⑨ 「特別の教科 道徳」の時間はもとより各教科、領域において、道徳教育の充実に取り組みます。
- ⑩ 教職員の研修会・研究会の活性化とともに、関係諸機関との連携を図ります。

6 いじめ防止と人権教育の推進

- ⑪ 一人ひとりを大切にできる学級風土、学校風土の創造に努め、いじめの無い集団づくりを推進します。
- ⑫ 各教科、各領域において人権教育の充実を推進します。

7 情報モラル教育の充実

- ⑬ 各教科、領域において情報モラル教育の充実に取り組みます。
- ⑭ 保護者、地域と連携し、情報モラル教育に関する講演会等に取り組みます。

8 体力の向上

- ⑮ 体育の授業や休み時間の運動や遊びを促し、運動への関心を高め、健康の保持増進と自ら体力の向上を目指す児童・生徒を育成します。

9 家庭との連携

- ⑯ 早寝・早起き・朝ごはん運動を生かして、基本的な生活習慣の定着を図ります。
- ⑰ 適切な課題を与えて学ぶ喜びを感じさせながら、自主的な学習をする習慣を身につけさせることを目指します。

10 地域との連携

- ⑱ 地域の教育力を生かし、授業や課外活動の一層の充実を図ります。

11 支援教育の推進

- ⑲ 特別な配慮を必要とする児童・生徒への支援体制の充実を図ります。
- ⑳ 家庭環境・社会環境の変化を踏まえ、個々のニーズに応じた支援体制を整えます。

12 教職員の指導力と学校力の向上

- ㉑ 管理職のリーダーシップのもと、学校教育目標の達成を目指した全教職員一丸となった組織を構築します。
- ㉒ PDCAサイクルを機能させ、学校組織の活性化を図ります。
- ㉓ 校内研究会の充実、教職員研修会・研究員研究会の活性化を図り、高い実践力を兼ね備えた教師の育成に努めます。
- ㉔ 各学校における研修会・研究会の公開、交流を進め、教師の授業力向上に努めます。
- ㉕ 若手教師の指導力向上に向けて、研修の充実を図ります。

13 学力向上、体力向上に資する教具、教材等の十分な整備

- ㉖ 学習指導要領が求める確かな学力及び体力の育成を図るため、教具、教材等の教育環境の十分な整備を図ります。

14 防災教育の推進

- ㉗ 大震災等への災害対策を進めるとともに、防災に関わる知識の普及や意識啓発に努めます。

15 学校施設の改善

- ㉘ トイレ、空調などの改修を進めるとともに、修繕、保守等による適切な管理を行い、安全で安心な学校環境の維持に努めます。
- ㉙ 借用している学校用地を順次、購入していきます。

16 小・中学校完全給食の実施

- ㉚ 学校給食センター方式とする方向性のもと、小・中学校における安全で安心な完全給食を実施するための、基本構想、基本計画を策定します。

《主要な取り組み》

事業名 (1)	少人数学習推進事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-09			
		会計	一般会計			
【事業概要】 算数等の授業で少人数による学習を実施し、児童が教員に質問できる機会を増やす等、個に応じた指導体制を充実させることにより、授業における理解を深め、学力の向上を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		13,502	13,502	13,502
	活動指標	配置された非常勤講師（小学校5校に各1名）による少人数授業の実施回数（回）	3,500	3,500	3,500	3,500
	効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）	72.5	80	80	80

事業名 (2)	少人数学習推進事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-09			
		会計	一般会計			
【事業概要】 数学等の授業で少人数による学習を実施し、生徒が教員に質問できる機会を増やす等、個に応じた指導体制を充実させることにより、授業における理解を深め、学力の向上を図ります。	年度	現状 (H28)	H30	H31	H32	
	実施	●	●	●	●	
	計画事業費 (千円)		8,101	8,101	8,101	
	活動指標	配置された非常勤講師（中学校3校に各1名）による少人数授業の実施回数（回）	2,100	2,100	2,100	2,100
効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）	60.1	60	60	60	

事業名 (3)	少人数学級実施事業	担当部署	学校教育課			
		2020ﾌﾗﾝｽ事業ｺｰﾄﾞ	4221-06			
		会計	一般会計			
【事業概要】 小学校1年から3年における1学級あたりの児童数（標準法による学級編成は40人）を35人以下とし、きめ細やかな学習指導を実現します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		8,685	8,685	8,685
活動指標	対象学年における少人数学級（35人以下）の実施率（％）		100	100	100	100
効果指標	対象学年の寒川町基礎力定着度確認問題の正答率（％）		80	80	80	80

事業名 (4)	英語指導助手活用事業	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-08			
		会計	一般会計			
【事業概要】 国際化時代に対応するため、英語指導助手を派遣して中学校の英語授業の充実を図るとともに、小学校においては、外国人と積極的にコミュニケーションをとることができるよう、言語や文化について体験的な学習の充実を図ります。	年度	現状 (H28)	H30	H31	H32	
	実施	●	●	●	●	
	計画事業費 (千円)		21,148	21,148	27,053	
	活動指標	小中学校の英語指導助手の派遣予定授業時間数における授業実施率(1クラス当たり) (%)	99	100	100	100
効果指標	児童・生徒の英語指導助手との授業における満足度 (%)	91.2	90	90	90	

事業名 (5)	家庭学習推進事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4212-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 児童が家庭学習の習慣をつけるため、家庭学習の重要性や必要性、学習のポイント等をまとめた手引きを作成し、各家庭に配布します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
活動指標	小学校版「家庭学習の手引き」の作成及びホームページでの公開	-	●	●	●	
効果指標	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合（％）	42	47	48	49	

事業名 (6)	家庭学習推進事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020プラン事業コード	4212-02			
【事業概要】 生徒が家庭学習の習慣をつけるため、家庭学習の重要性や必要性、学習のポイント等をまとめた手引きを作成し、各家庭に配布します。		会計	一般会計			
		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
		活動指標	中学校版「家庭学習の手引き」の作成及びホームページでの公開	-	●	●
効果指標	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合（％）	60	64	64	65	

事業名 (7)	学校図書充実事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-04			
		会計	一般会計			
【事業概要】 老朽化した図書資料の廃棄や入れ替えなどを適正に行い、学校図書資料の充実を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		1,600	1,600	1,600
		活動指標	小学校における基準冊数に対する平成年代購入図書の割合（％）	94.3	95	96
効果指標	学校図書館の利用児童数の割合（％）	100	100	100	100	

事業名 (8)	学校図書充実事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード*	4221-04			
		会計	一般会計			
【事業概要】 老朽化した図書資料の廃棄や入れ替えなどを適正に行い、学校図書館資料の充実を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		1,760	1,760	1,760
活動指標	中学校における基準冊数に対する平成年代購入図書の割合（％）		95	96	97	98
効果指標	学校図書館の利用生徒数の割合（％）		73.1	90	100	100

事業名 (9)	ネットパトロール事業	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4223-04			
		会計	一般会計			
【事業概要】 社会問題化しているインターネット上のいじめや詐欺等の犯罪の被害など、児童・生徒がインターネット上のトラブルに巻き込まれることを防止するため、学校ネットパトロールを実施し、適切な対応・対策を講じます。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		972	972	972
活動指標	ネットパトロール回数（回）		72	72	72	72
効果指標	ネットパトロール実施により報告された案件に対する対応割合（％）		100	100	100	100

事業名 (10)	寒川にこにこ学習推進事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-10			
		会計	一般会計			
【事業概要】 家庭学習を補充する学習会を、教職経験者や地域の協力を得て実施します。 学習会では、多様なカリキュラムを実施するとともに、個別の学習相談を受けることで、学力の向上を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)	／	588	588	588
活動指標	学習会の年間実施回数（回）		33	35	35	40
効果指標	参加児童の満足度（％）		—	80	80	80

事業名 (11)	寒川にこにこ学習推進事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-10			
		会計	一般会計			
【事業概要】 家庭学習を補充する学習会を、教職経験者や地域の協力を得て実施します。 学習会では、多様なカリキュラムを実施するとともに、個別の学習相談を受けることで、学力の向上を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)	／	588	590	590
活動指標	学習会の年間実施回数（回）		33	35	35	40
効果指標	参加生徒の満足度（％）		—	80	80	80

事業名 (12)	「地域のせんせい」ふれあい推進事業 (小学校)	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 生きることの喜びや命の大切さ、人を思いやる心の育成や確かな学力の定着には、体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実が必要であることから、地域協力者の活用を推進します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)	／	750	750	750
活動指標	地域協力者による体験的な教育活動と個に応じた指導		●	●	●	●
効果指標	アンケートによる児童の満足度（％）		72.7	70	70	70

事業名 (13)	「地域のせんせい」ふれあい推進事業 (中学校)	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 生きることの喜びや命の大切さ、人を思いやる心の育成や確かな学力の定着には、体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実が必要であることから、地域協力者の活用を推進します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)	／	1,500	1,500	1,500
活動指標	地域協力者による体験的な教育活動と個に応じた指導		●	●	●	●
効果指標	アンケートによる生徒の満足度（％）		89.6	70	70	70

事業名 (14)	特別支援教育推進事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-03			
		会計	一般会計			
【事業概要】 障がいのある児童に対する教育の充実を図るため、特別支援学級に教職員を補助するための補助員を、各小学校にふれあい教育支援員を、通常学級に在籍する障がいのある児童には活動に応じて介助員を配置します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		20,433	19,166	19,124
		活動指標	特別支援学級の補助員数（人）		5	5
効果指標	きめ細やかな特別支援学級の体制整備率（％）		100	100	100	100

事業名 (15)	特別支援教育推進事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード*	4221-03			
		会計	一般会計			
【事業概要】 障がいのある生徒に対する教育の充実を図るため、特別支援学級に教職員を補助するための補助員を配置するとともに、通常学級に在籍する障がいのある児童に必要なに応じて介助員を配置します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		6,858	6,803	6,803
		活動指標	特別支援学級の補助員数（人）		5	6
効果指標	きめ細やかな特別支援学級の体制整備率（％）		100	100	100	100

事業名 (16)	教育相談事業	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4223-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 不登校や様々な問題を抱えている家庭に対して、心理相談員、巡回相談員、訪問相談員、学生相談員による相談活動を行い、児童・生徒及び保護者の心の安定を図り、よりよい学校生活を過ごすための支援を行います。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		2,414	3,201	3,201
		活動指標	教育相談事業における心理相談員、巡回相談員、訪問相談指導員、学生相談員の勤務回数（回）	168	180	215
効果指標	上記相談員、指導員の相談件数（件）	1,137	540	645	645	

事業名 (17)	「生きる力」の育成事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード*	4221-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 児童の知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育成するため、教職員の指導力向上のための研修会や研究会の充実を図るとともに、芸術鑑賞などに対して支援を行います。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		490	620	570
活動指標①	校内研究への支援（指導主事による指導、助言や交付金の交付）		●	●	●	●
効果指標①	校内研究実施小学校（校）		5	5	5	5
活動指標②	芸術鑑賞への補助		●	●	●	●
効果指標②	芸術鑑賞実施小学校（校）		5	5	5	5

事業名 (18)	「生きる力」の育成事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード*	4221-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 生徒の知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育成するため、教職員の指導力向上のための研修会や研究会の充実を図るとともに、芸術鑑賞や部活動などに対して支援を行います。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		1,411	1,281	1,331
活動指標①	校内研究への支援（指導主事による指導、助言や交付金の交付）		●	●	●	●
効果指標①	校内研究実施中学校（校）		3	3	3	3
活動指標②	芸術鑑賞への補助		●	●	●	●
効果指標②	芸術鑑賞実施中学校（校）		3	3	3	3

事業名 (19)	教職員の資質向上事業	担当部署	学校教育課			
		2020予算事業コード	4221-07			
		会計	一般会計			
【事業概要】 教職員の資質の向上を図るため、教職員経験を有してその経験を生かし、若手教員の育成及び学校経営において先進的に牽引・補助する専門指導員を小中学校に配置します。また、研修会等を実施するとともに、教職員が参加する教育研究活動を行う団体に支援を行います。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		8,003	7,991	7,991
活動指標①	教職員研修会、教育講演会等の実施回数（回）		40	40	40	40
効果指標①	教職員研修会、教育講演会への参加教職員の割合（％）		70	70	70	70
活動指標②	交付金の支援団体数（団体）		7	7	7	7
効果指標②	研究会等による教職員の情報共有や資質向上		●	●	●	●
活動指標③	小学校1名、中学校1名、計2名の専門指導員の配置（人）		2	2	2	2
効果指標③	基礎力定着度確認問題の正答率（％） 小学校		72.5	80	80	80
効果指標③	基礎力定着度確認問題の正答率（％） 中学校		60.1	60	60	60

事業名 (20)	教育活動充実事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020予算事業コード*	4221-05			
		会計	一般会計			
【事業概要】 学校教育活動のために必要な教材用消耗品、各種指導資料、 教材備品などを活用し教育の振興を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		13,136	13,166	25,226
活動指標	購入希望教材等充足率（％）		100	100	100	100
効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）		72.5	80	80	80

事業名 (21)	教育活動充実事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4221-05			
		会計	一般会計			
【事業概要】 学校教育活動のために必要な教材用消耗品、各種指導資料、 教材備品などを活用し教育の振興を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		8,516	8,547	8,428
活動指標	購入希望教材等充足率（％）		100	100	100	100
効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）		60.1	60	60	60

事業名 (22)	教育コンピュータ活用事業（小学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード	4222-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 教育の充実を図るため、観察物やプリントなどを大きく拡大して写し、一つの資料をみんなで共有することなどができる実物投影機等を整備します。主体的、対話的で深い学びを実現するために、授業においてICT機器を活用することで、児童の学力の定着を目指します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		13,953	34,519	35,866
活動指標	普通教室への情報化対応機器（実物投影機1台とプロジェクター1台）の整備率（％）		32	100	100	100
効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）		72.5	80	80	80

事業名 (23)	教育コンピュータ活用事業（中学校）	担当部署	学校教育課			
		2020年度事業コード*	4222-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 教育の充実を図るため、観察物やプリントなどを大きく拡大して写し、一つの資料をみんなで共有することなどができる実物投影機等を整備します。主体的、対話的で深い学びを実現するために、授業においてＩＣＴ機器を活用することで、児童の学力の定着を目指します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		8,928	13,265	25,362
活動指標	普通教室への情報化対応機器（実物投影機１台とプロジェクター１台）の整備率（％）		37	100	100	100
効果指標	基礎力定着度確認問題の正答率（％）		72.5	80	80	80

事業名 (24)	学校施設改修事業	担当部署	教育施設・給食課			
		2020年度事業コード	4222-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 学校生活における児童の学習環境の改善を図るため、小学校の普通教室へエアコンを設置します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	38,389	339,900
		活動指標	普通教室へエアコンを設置した小中学校数（校）		0	3
効果指標	町立小中学校の普通教室へのエアコン設置率（％）		0	37.5	37.5	100

事業名 (25)	学校給食センター整備事業	担当部署	教育施設・給食課			
		2020年度事業コード	4222-03			
		会計	一般会計			
【事業概要】 安全で安定的に提供が行える学校給食センターの整備に向け、内部検討委員会を設置するとともに同委員会で検討した事項について、助言及び提言を行う外部検討委員会を設置し、建設に係る取り組みを進めます。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		182	182	182
活動指標	施設建設にかかる取り組み (H30:基本構想、用地協議、H31:基本構想、用地協議、基本設計、H32:基本設計、実施設計)	-	●	●	●	
効果指標	平成35年度の建設完了及び給食提供開始に向け実施設計作成	-	-	-	●	

事業名 (26)	小学校用地購入事業	担当部署	教育施設・給食課			
		2020年度事業コード	4222-04			
		会計	一般会計			
		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
【事業概要】 現在学校用地として使用している土地のうち、借用している土地については、地権者の意向も踏まえながら借地の解消（購入）に努めます。		計画事業費 (千円)	／	56,229	0	365,567
活動指標	学校用地のうち、借用している用地の取得		－	●	－	●
効果指標	各年度末の小学校借用地総面積（㎡）		4,852	4,059	4,059	1,171

(2) 社会教育

基本目標

学びの成果を生かした豊かで活力ある地域社会
実現のための支援が行われている。

基本方針

基本方針④ 現代的・社会的課題に関する学習の推進

～社会の急激な変化に伴う様々な課題に自ら対応し、人間性豊かな生活を営むため、現代的・社会的課題に関する学習機会を提供します。～

基本方針⑤ 地域の伝統、文化財を保護し、郷土への愛着を育む活動の実施

～地域の貴重な文化財を後世へ残すため、
保存、研究、普及、啓発活動を進めます。～

基本方針⑥ 地域住民の教養文化の向上と豊かな人づくり

～社会教育活動の拠点として、ニーズに対応した講座等を開催し、
学習機会の充実を図ります。～

基本方針⑦ 住民の知的欲求や課題解決のための図書資料等の充実

～利用者への情報提供を行うため、
様々な分野の図書資料等の収集・整理・提供に努めます。～

◇町長部局との連携

◇社会教育関係団体との連携及び支援

【現状と課題】

現代的・社会的課題に関する学習の推進

- 近年の核家族化や都市化により親族や地域からの子育てへの支援が希薄になっており、出産や育児について、日常生活の中で学んだり、相談できたりする機会が得にくい状況があります。子育て家庭が安心して子育てに取り組めるよう支援する必要があります。
- 社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために現代的課題、地域的課題についての学習機会を提供する必要があります。
- 社会教育関係団体が自らの社会教育活動や培ってきた成果を団体内だけでなく、広く地域へ発信していけるように団体活動を活性化させる必要があります。

地域の伝統、文化財を保護し、郷土への愛着を育む活動の実施

- 町の各種文化財を保護するため、調査研究や、各種講座を実施していますが、さらなる普及啓発意識の向上の必要があります。
- 文化財学習センターでは、町の歴史についての資料を保存、展示していますが、その認知度はいまだ高くありません。資料の整理、保存をするとともに、資料を活用した企画展などを開催し来場者を増やし多くの人に利用されることが必要です。

地域住民の教養文化の向上と豊かな人づくり

- 家庭への支援として、親子で参加する講座を設けていますが、父親の参加が少なく、参加者に偏りが見られます。父親が参加しやすい企画等が必要です。
- 子どもフェスティバルなどの子ども向けイベントや講座等の開催が増え、公民館を利用する子どもが増えています。さらに、地域とのつながりを進めていくため、地域の団体等との協力が必要です。
- 公民館を利用する年代として、高校生以上の学生及び働く年代の利用が少ない状況があります。求められるニーズを把握し、そのニーズに対応した講座等の開催が必要です。
- 身近に芸術や文化に親しむ機会をつくるため、公民館サークルの発表の場を設けています。さらに、専門家等による質の高い芸術鑑賞の場を設ける必要があります。
- 公民館で活動しているサークル会員の高齢化及び固定化、並びにその減少傾向が見られます。公民館利用の活性化を図るため、世代間の交流や年代にあった講座の開催、安全安心でいつまでも利用できる施設の環境づくりが必要です。
- 指定管理者制度を導入した公民館、図書館の運営管理についてコスト面等施設の効率的な管理だけに目を向けるのではなく、社会教育活動の拠点として指定管理者と円滑な連携を図り、さらなる住民サービスの向上を目指す必要があります。

住民の知的欲求や課題解決のための図書資料等の充実

- 毎週、土曜日に絵本や紙芝居のおはなし会、夏、冬のスペシャルおはなし会を行い、図書に親しむ環境づくりや図書館に来るきっかけづくりを行っています。地域とともに育つ図書館をめざしてボランティアの活用が必要です。
- 子育てや家庭教育関係の資料を利用してもらうため、図書資料の充実と企画展示をしています。そのため新鮮で幅広い分野の選書をしていく必要があります。
- 図書館を身近に感じ理解してもらうため、小学生の「図書館たんけん」や中学生の「職場体験」などを開催しています。体験中は職員が付き添いながらの指導となるため、あまり多くの児童、生徒の受入ができない状況です。
- 青少年の読書意欲を高めるため夏休みを活用した「わくわく読書マラソン」を実施しています。これには多くの参加がありますが、継続発展のため、さらなる学校との連携が必要です。
- 図書館に来るきっかけづくりのため、閉館後の図書館でコンサートを実施しています。今後もサークルや学校と連携を密にしたコンサートにする必要があります。
- 町民と協働し開かれた図書館とするため、おはなしボランティア、配架・書架整理ボランティアを募集しています。事業の内容や募集の回数、PR方法を工夫し、これを活性化させる必要があります。

◆◆◆◆ 後期実施計画（2018～2020 年度）の重点施策 ◆◆◆◆

1 現代的・社会的課題に関する学習の推進

- ① 子育て家庭を支援するために、子育て、家庭教育についての学習機会を設けます。
- ② 現代的課題や地域的課題についての学習機会を設けます。
- ③ 社会教育関係団体活動の活性化のため、団体の支援をします。

2 地域の伝統、文化財を保護し、郷土への愛着を育む活動の実施

- ④ 文化財保護意識の普及・啓発のため、各種団体と連携し講座等を実施します。
- ⑤ 文化財学習センターでの資料の整理、保存を充実させ、出張展示など資料を活用した展示や講座の開催し、文化財保護意識の普及啓発に参加する人を増やします。

3 地域住民の教養文化の向上と豊かな人づくり

- ⑥ 公民館利用者や公民館サークル数がここ数年減少傾向にあり、講座のマンネリ化が要因の一つにあげられています。このマンネリ化を防ぎ、より多くの利用を得るため、ニーズに対応した講座等を開催し、学習機会の充実を図ります。
- ⑦ 青少年の健全育成を図るため、学校、生涯学習推進員などの地域の協力が得られる講座等を実施します。
- ⑧ 地域住民の教養文化の向上並びに人間性豊かな人づくりのため、講演会、コンサート、ダンス、音楽祭等の発表や鑑賞の機会を設けます。
- ⑨ 地域に根ざした文化活動の充実と公民館活動の啓発のため、地域の特色を生かしたイベントを開催します。
- ⑩ 乳幼児から高齢者までの世代間の交流や地域の絆づくりの拠点として、快適な学習環境を整えるため、施設整備に努めます。
- ⑪ 指定管理者と連携し多様化する住民ニーズに対応した新たなサービスの充実を図るため、外部からの視点を取り入れやすい体制の確保を図ります。

4 住民の知的欲求や課題解決のための図書資料等の充実

- ⑫ おはなし会を充実するためボランティアや読み聞かせサークルなどと連携を図ります。
- ⑬ 子育てや家庭教育に役立つ情報の提供を行うため資料収集や企画展示に努めます。
- ⑭ 図書に親しむ環境づくりを進めるため、児童、生徒の図書館体験などを積極的に実施し、図書館の利用促進を図ります。
- ⑮ 学校と連携し、読書意欲の向上を図ります。
- ⑯ サークルや学校との連携により、閉館後の総合図書館を活用し、コンサートを開催します。
- ⑰ ボランティアの協力により図書館サービスの充実を図ります。
- ⑱ 企業の協力により雑誌スポンサー制度を充実させます。

《主要な取り組み》

事業名 (1)	家庭教育推進事業	担当部署	教育総務課			
		2020ﾌﾟﾗﾝ事業ｺｰﾄﾞ*	4212-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 家庭での教育の充実のため、親子でのふれあいの場や家庭教育に関する学習機会の場を提供します。 また、発達段階に応じた子育てや家庭学習のポイントをまとめた冊子の配布、国や県の家庭教育に関する情報等の提供を行います。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
活動指標	家庭教育講座等の開催回数（回）		3	4	4	4
効果指標	参加者の満足度（％）		91	90	90	90

事業名 (2)	人権教育推進事業	担当部署	教育総務課			
		2020年度事業コード*	3363-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 人権が侵されることなく個人として尊重される地域社会実現に向け、人権尊重の理念について正しい理解を深めるため、町民（主に成人）を対象とした人権教育講座等を実施します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
		活動指標	人権教育講座等の実施回数（回）	1	1	1
効果指標	参加者の満足度（％）	76.5	75	80	80	

事業名 (3)	社会教育関係団体活動支援事業	担当部署	教育総務課			
		2020年度事業コード*	4111-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 社会教育関係団体活動の充実と活性化を促すため、社会教育関係団体を支援します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		300	300	300
活動指標	補助金交付団体数（団体）		2	2	2	2
効果指標	団体による活動数（件）		15	15	15	15

事業名 (4)	文化財保護事業	担当部署	教育総務課			
		2020ﾌﾟﾗﾝ事業ｺｰﾄﾞ*	4311-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
文化財の指定や解除、新たな指定文化財候補の調査研究を実施するとともに、文化財保護の普及啓発のため、文化財説明板の整備や、講座を開催します。また、埋蔵文化財を保護するため、開発行為への指導など保存に向けた学術調査等を実施します。		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		2,421	2,531	2,351
活動指標	普及啓発講座参加者数（人）		54	60	70	70
効果指標	講座参加者満足度（％）		94	90	90	90

事業名 (5)	文化財学習センター事業	担当部署	教育総務課			
		2020予算事業コード	4311-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】 町民の教育、学術及び地域文化の発展に寄与し、文化遺産を保護するため、文化財学習センターにおいて、埋蔵及び民俗文化財の保存、修復を行い、展示等の公開や各種普及啓発を実施します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		505	510	512
活動指標	文化財学習センターにおける文化財を活用した普及啓発の取り組み回数（回）	6	4	4	4	
効果指標	文化財学習センターにおける普及啓発の取り組みへの参加者数（人）	186	130	140	140	

事業名 (6)	社会教育振興事業	担当部署	教育総務課			
		2020ﾌﾟﾗﾝ事業ｺｰﾄﾞ	4112-01			
		会計	一般会計			
【事業概要】 指定管理者と円滑な連携を図り、公民館を地域の学びの拠点として、あらゆる世代を対象とした様々な分野の事業を開催し、文化教養の向上や地域づくりのための学習機会、学習の場、成果発表の場等を提供します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
活動指標	講座等の数（件）		74	103	106	110
効果指標	講座等参加者の満足度（参加者アンケートによる）（％）		93	90	90	90

事業名 (7)	社会教育委員活動事業	担当部署	教育総務課			
		2020年度事業コード		4112-02		
		会計	一般会計			
【事業概要】 社会教育に関する事項について、意見や助言をいただくため、社会教育委員会を開催し、施策へ反映することで、社会教育行政の充実に努めます。 併せて、他市町の事例研究のため、委員が研修会等へ参加する機会を提供します。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		306	309	310
活動指標	会議開催回数（部会含む）（回）		5	8	8	8
効果指標	会議等での意見を受けて事業を改善した件数（件）		1	2	2	3

事業名 (8)	子ども読書ふれあい事業	担当部署	教育総務課			
		2020ﾌﾟﾗﾝ事業ｺｰﾄﾞ*	4211-02			
		会計	一般会計			
【事業概要】		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
未就学児と保護者等を対象に季節にちなんだ絵本の読み聞かせをする「おはなし会」や、乳幼児と保護者を対象に絵本やわらべうたをとおして赤ちゃんふれあう「おひざにだっこのおはなし会」を開催し、幼児期から文学や芸術にふれられる機会を提供します。		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
活動指標	おはなし会の開催回数（回）		63	60	60	60
効果指標	おはなし会の平均参加人数（人）		22	25	25	25

事業名 (9)	図書館サービス向上事業	担当部署	教育総務課			
		2020年度事業コード*	4112-03			
		会計	一般会計			
【事業概要】 生涯学習の情報拠点として図書館サービスを提供するとともに、利用しやすい図書館運営をめざし、指定管理者と円滑な連携を図り、町民ニーズを把握しながら図書館利用の拡大を図ります。		年度	現状 (H28)	H30	H31	H32
		実施	●	●	●	●
		計画事業費 (千円)		0	0	0
		活動指標	資料購入点数（点）	3,928	5,000	5,000
効果指標	来館者数（人）	272,425	275,000	280,000	285,000	

主な取り組みの検証

「現状値」は平成26年度の数値（中期実施計画策定時）

「達成度評価」欄は平成29年度実績についてA、B、Cの3段階評価を記載。その下に平成29年度実績値を記載。

（A…よくできた。目標以上の成果が得られた。B…ほぼ目標どおりにできた。C…目標どおりできなかった。）

「次期に向けての課題や実施の方向性」欄は「達成度評価」に基づき後期実施（計画）に向けた内容を記載。

【学校教育】

事業名	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)	達成度 評価	次期に向けての課題や実施の方向性
「生きる力」の育成事業	少人数学習等の実施により、学習形態や指導方法を工夫・改善し、学力向上を図ります。また、基礎力の定着度を検証し、補充学習等を実施します。	基礎力定着度確認問題の正答率	75% (70%)	C 68%	教育における流行と不易についてバランスのとれた授業を行うために、基礎基本の確実な定着を意識した授業改善を行い、確かな学力の育成を図っていく。
	家庭との連携をとり、基本的な生活習慣・学習習慣の定着を図ります。	基本的な生活習慣・学習習慣の定着率	70% (60%)	C 50%	家庭において計画的な学習習慣を定着させるために、今後も家庭学習の手引き等による啓発を行っていく。
	教育活動全体を通して、生命を尊重する心や自他を大切にすることを育みます。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	100% (94%)	B 98%	道徳教育の充実を通して、一人ひとりを大切にできる学級、学校風土の創造に努め、いじめのない集団作りを行っていく。
	人権教育・情報教育・環境教育・国際教育などを充実させ、時代の変化に対応する力を育成します。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	90% (84%)	A 96%	人権教育・情報教育・環境教育・国際教育など、時代の変化に対応できる力の育成をあらゆる場面で捉えて育成していく。
	たくましく生きるために、自らの健康を維持・増進していかうという態度を育てます。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	90% (83%)	B 84%	家庭と連携し早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活習慣の定着を図るとともに、体力の向上及び健康の保持・増進に向けた教育活動の充実を図る。
	各校の校内研究の充実を支援します。	指導主事による校内研究への指導助言回数	50回/年 (40回/年)	A 95回/年	各校の学校教育目標の実現に向けた授業改善について、これからの教育の動向を踏まえて適切に指導助言を行っていく。
	児童・生徒指導力向上のための研修会・研究会の充実を図ります。	研修会への参加人数	70人/年 (62人/年)	A 77人	児童・生徒指導力の向上に向け、教育課題を踏まえた研修会を実施していく。
地域のせんせいふれあい推進事業	「地域のせんせい」を講師にした授業や総合的な学習の充実を図ります。	アンケートによる児童・生徒・保護者の満足度	70% (77%)	A 89%	体験的な活動や学習補助等について、各校の教育課程に合わせて地域の人材を活用した授業を実施していく。
少人数学級実施事業	個に応じたきめ細かな指導を展開します。	基本的な生活習慣・基礎的な学力の定着率	90% (80%)	C 50%	個に応じたきめ細かい指導は今後もより一層必要となるため、学校のニーズを踏まえた人的配置を行う。

学校図書充実事業	読書活動を推進し、豊かな情操の育成を図ります。	現状冊数に対する新規購入冊数の割合	年3% (年1%)	C 年1%	読書活動の推進、充実に向け新規図書の購入を継続していく。
教育活動充実事業	各学校の組織的な教育力を高め、教育活動の充実を図ります。	指導主事による学校訪問における指導助言回数	100回/年 (80回/年)	A 125回	日常的な学校訪問を行い現状の把握をするとともに、児童生徒指導、授業等について課題に応じて指導助言を行う。
	各学校の授業等に必要な教材・教具などを整備します。	新学習指導要領対応教材・教具の充足率	100% (—)	A 100%	新学習指導要領の指導の充実を図るため適切な教材・教具を配備していく。
特別支援教育推進事業	特別の支援を必要とする児童・生徒・保護者のニーズに応えます。	アンケートによる保護者の満足度	70% (84%)	A 98%	特別な配慮を必要とする児童・生徒への支援体制の充実を図る。
教育コンピュータ活用事業	コンピュータ教室を中心にコンピュータを活用した情報教育を推進します。(新導入 e ライブラリ)	e ライブラリの利用率	100% (—)	A 100%	コンピュータ等のICT 機器を用いて学習をすることにより、情報活用能力の育成を図っていく。
英語指導助手活用事業	英語指導助手を活用した中学校の英語教育及び小学校外国語活動の充実を図ります。	アンケートによる児童・生徒の満足度	小95% 中85% (小95%) (中84%)	B 小93% 中82%	新学習指導要領における英語教育の改訂において、小学校3・4年生からの外国語活動、5・6年生の小学校外国語、中学校の実践的で対話的な英語教育にむけてAETを活用し、指導の充実を図る。
教職員の資質向上事業	教員の資質向上のための研修会の充実を図ります。	研修会への参加人数	200人/年 (198人/年)	A 318人	今日的な教育課題について、教職員のニーズに合わせて研修を実施していく。
教職員の資質向上事業	研究員研究会における教育課題の研究及び研究成果の普及に努めます。	アンケートによる教職員等の達成度	90% (90%)	A 90%	研究員研究会における研究の成果について、研究発表会および研究紀要の作成を通して、全教職員に周知を図っていく。
教育相談事業	多様な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応えます。	専門スタッフによる相談件数	1,000件/年 (3,543件/年)	A 3748件/年	巡回相談員、心理相談員、訪問相談指導員等による相談を行い、関係機関と連携し具体的な対応につなげていく。
	不登校児童・生徒への支援を行います。	相談指導教室への通級率	50% (42%)	C 32%	情緒混乱型の不登校児童・生徒について丁寧な相談を行い、個の実情に合わせて目標を設定し、社会的自立に向けた支援を行っていく。
さむかわ学びっ子育成推進事業(新)	各小・中学校における授業研究会、講演会等を公開、交流し、教職員の授業力の向上を図ります。	小・中学校における授業研究会等の開催回数	40回/年 (—)	A 40回/年	これから求められる学力について校内研究を通して研究し、確かな学力の育成を図る。
ネットパトロール推進事業(新)	ネット上の問題状況を把握し、児童・生徒指導を推進します。	小・中学校における問題行動等の解消率	80%/年 (80%/年)	A 91%	ネット上の問題状況の把握を通して、児童・生徒指導上のトラブルやいじめの未然防止と、問題行動の指導に役立てる。

事業名	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)	達成度 評価	次期に向けての課題や実施の方向性
小・中学校施設維持管理 事業	修繕、保守等による適切な管理を行い、安全で 安心な学校環境の維持に努めます。	修繕保守対応率 (対応件数／修繕保守発 生件数)	100% (－)	B 85%	施設の老朽化は今後も進むため、さらなる管 理の徹底と維持補修に努めていく。

主な取り組みの検証

「現状値」は平成26年度の数値（中期実施計画策定時）

「達成度評価」欄は平成29年度実績をA、B、Cの3段階評価で記載。その下の値は平成29年度実績値。
（A…よくできた。目標以上の成果が得られた。B…ほぼ目標どおりにできた。C…目標どおりできなかった。）

「次期に向けての課題や実施の方向性」欄は「達成度評価」に基づき後期実施（計画）に向けた内容を記載。

【社会教育】

事業名	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)	達成度 評価	次期に向けての課題や実施の方向性
家庭教育講座等開催事業	子育て家庭を支援するため、家庭教育についての講演会を実施します。	講演会等参加者の満足度	85% (79%)	A 87%	参加者数に課題はあるものの、参加者の満足度が高い講座等を開催できている。引き続き子育て家庭を支援するため、今後は、参加者増を狙い、より身近な学びの場である公民館講座として実施していく。
人権教育推進事業	現代的課題である人権問題に関する講座を実施します。	人権教育講座の参加者数	20人 (19人)	C 12人	目標値は、達成できなかったが、社会教育として引き続き取り組んでいく必要がある分野であるため、今後は、より身近な学びの場である公民館講座として実施していく。
社会教育関係団体活動支援事業	社会教育関係団体活動の活性化のため、研修の機会を設けます。	PTAを対象とした研修会参加者の満足度	85% (—)	A 92%	PTA役員を対象に研修会を実施してきたが、今後は、研修会等の実施については、団体の自主的な活動に委ね、引き続き補助金の交付等を行いながら団体活動を支援していく。
文化財保護事業	郷土文化継承のための郷土研究会への委託事業や、普及啓発事業として観光協会との連携事業を実施します。	普及啓発講座参加者数	80人 (63人)	C 74人	事業主体を、公民館、観光協会とし、連携をしながら郷土の文化の保存、普及を実施していく。それらの連携により民間の力やノウハウを活用し、事業の活性化を図っていく。
文化財学習センター事業	埋蔵及び民俗文化財の整理保存、修復を行い、展示等の公開事業や、企画展、各種普及啓発事業を実施します。	文化財学習センター来館者数	1,150人 (1,071人)	C 1,039人	各所と連携し事業を実施しているが、来館者数大幅増加となるのは難しい現状である。収蔵品をより多くの人に見てもらうため、図書館等人が多く集まる場で啓発事業を行い、これらにより来館者増につなげていく。

事業名	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)	達成度 評価	次期に向けての課題や実施の方向性
社会教育振興事業	公民館利用者やサークル数の減少傾向に歯止めをかけ、講座のマンネリ化を防ぐため、ニーズに対応した講座等を開催し学習機会の充実を図ります。(子育てや家庭教育に繋がる講座、健康づくりに関する講座、外国語とふれあう講座、料理教室などの開催)	講座等参加者の満足度	80% (一)	A 92%	平成 29 年度からの指定管理者制度導入により、指定管理者自らのアイデアによる新規講座やサークル支援事業等の開催により、講座からの新規サークル化や既存サークルへの加入等に繋がっている。引き続き、指定管理者と連携し、ニーズに対応した学習機会の充実を図る。
	青少年の健全育成を図るため、学校、生涯学習推進員などの地域の協力が得られる講座等を実施します。(自然観察会、体験講座などの開催)(夏休み子どもフェスティバル、子どもサイエンスフェスティバル、サマースクールの開催)	講座等の参加者数	1,300 人 (1,433 人)	A 1,662 人	平成 29 年度からの指定管理者制度導入により、指定管理者自らのアイデアによる新規事業を実施。青少年を対象にした様々な分野の事業も開催し、子どもたちが様々なことを学び、体験できる環境を提供することができた。引き続き、指定管理者と連携し、青少年対象の事業を実施していく。
	地域住民の教養文化の向上並びに豊かな人づくりのため、絵画展、講演会、コンサート、ダンス、音楽祭等の発表や鑑賞の機会を設けます。(ジュニア絵画展や書き初め大会の実施)(文化講演会、ふれあいコンサート、公民館サークルの発表の場として合唱祭、音楽祭、ダンスフェスタなどの実施)	講演会等参加者数	3,800 人 (3,801 人)	A 4,499 人	町民センターホールを利用した事業を中心に文化、芸術の発表や鑑賞の機会を提供できている。引き続き、指定管理者と連携し、地域住民の教養文化の向上並びに豊かな人づくりに資する事業の展開を図る。
公民館まつり開催事業	地域に根ざした文化活動の充実と公民館活動の啓発のため、地域の特色を生かしたイベントを開催します。(地域で開催する公民館まつりの支援)	まつり参加延べ人数	3,750 人 (4,200 人)	A 4,700 人	各地区の特色を生かして公民館サークル等の活動の発表、作品展示、模擬店等を行い、地域の学びの拠点として公民館やサークル活動等を広くPRすることができた。引き続き実施していく。
施設整備事業	乳幼児から高齢者までの世代間の交流や地域の絆づくりの拠点として、快適な学習環境を整えるため、施設整備に努めます。(北部公民館の空調設備の改修など) (南部公民館の備品設備の改修など) (町民センターの消防設備の改修など)	実施公民館数	3館 (一)	A 3館	各館において必要な修繕を実施したが、各館共に老朽化が進んでいるため、利用者のサービス低下につながらないように、引き続き、公共施設等総合管理計画の状況を踏まえながら、必要な修繕を実施していく。

事業名	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)	達成度 評価	次期に向けての課題や実施の方向性
総合図書館運営事業	おはなし会（読み聞かせ）事業を充実します。	開催回数	60回 (63回)	A 61回	乳幼児期から本と出会い、親しむ場を提供するため、お話し会を定期的に開催する。
	子育てや家庭教育関係の資料を充実します。	年間購入費率	1% (1%)	A 2%	子育てや家庭教育を支援するため、資料収集や企画展示を実施する。
	児童、生徒の図書館体験事業を行います。	事業定員への参加率	100% (93%)	A 100%	小学生対象の図書館体験ツアーの実施や中学・高校生の職場体験やインターンシップの受け入れにより、図書館についての理解と利用促進を図る。
	読書意欲の向上や本を読む機会作りのため、夏休みに「わくわく読書マラソン」を行います。	参加者数	500人 (513人)	A 506人	小学生の読書意欲の向上や、本を読む機会と来館のきっかけ作りのため、「わくわく読書マラソン」を継続していく。
	閉館後の図書館を活用し、コンサートを開催します。	参加者の満足度	70% (—)	A 100%	閉館後を利用した図書館コンサートを開催し、文化の振興と図書館への関心と利用促進を図る。
	ボランティアを募り、図書館サービスを充実します。	登録者数	25人 (22人)	A 26人	絵本の読み聞かせや図書の配架・書架整理など様々なボランティアを活用し、地域の協力により図書館サービスの充実を図る。
	雑誌などの充実を図るため企業の協力による雑誌スポンサー制度を導入します。	タイトル数	10タイトル (—)	C 5タイトル	指定管理者制度導入1年目のため町内企業等とのつながりが薄く前年度に比べ本制度でのタイトル数を減らしたが、今後も継続して企業・団体等の協力が得られるよう努め、雑誌類の充実を図る。



寒川町教育振興基本計画（改定版）

後期実施計画

<発行>

平成30（2018）年6月

寒川町教育委員会

